

産業成長戦略の第1四半期の進捗状況等

分野： 水産業分野

戦略の柱： 流通・販売の強化

取組方針： 外商ビジネスの拡大、産地市場の機能強化

【概要・目的】

少量多品種の特性を活かした外商の拡大や消費地市場とのネットワークの強化を図るとともに、国外への販路を開拓することで、本県水産物の販売力の向上を図る。

平成29年度の当初計画（P）

1. 外商ビジネスの拡大

- (1) 「応援の店」や「さかな屋高知家」を拠点とした外商活動の一層の強化
 - 応援の店の登録件数の増
 - 産地見学会の開催（「応援の店」（20店舗×3回/年）
 - ・産地市場等の見学や産地商談会の開催
 - ホテルやチェーン店等の産地招へい（6店舗/年）
 - ・県産水産物への評価の取得、店舗での情報発信等
 - シェフグループへの取組み支援（3店舗×5回/年）[新規]
 - ・県水産物によるメニュー開発や勉強会等への支援
 - 築地につぼん漁港市場での試食提案会の開催（2回/年）[新規]
 - ・「応援の店」を対象とした県産水産物の試食提案会の開催
 - 「応援の店」への訪問及びサンプル出荷（200件/年）
 - ・「応援の店」へのニーズ収集、サンプル出荷による評価の取得等
 - 高級・高鮮度魚の試験出荷（60件/年）
 - ・高級魚や高鮮度処理した鮮魚の試験出荷による評価の取得
 - 農畜産物との混載によるサンプル出荷（20件/年）
 - ・「応援の店」のニーズに対応した水産物と農畜産物を混載したサンプルの発送
- (2) 県内産地の対応力の強化
 - 県内の定置網等での高鮮度処理（血抜き、神経締め等）の指導・助言（5か所×5回/年）
- (3) 消費地市場と連携した外商活動の展開
 - 市場関係者の紹介による関西の量販店での高知フェアの開催（20店舗/年）
- (4) 販売の拡大を背景とした新たな物流システムの構築
 - 関係事業者との最適な物流方法についての検討、協議
 - 複数産地の鮮魚集荷によるエア便等を活用した物流の試行
 - 活魚集荷による高鮮度処理魚の物流の試行

2. 産地市場の機能強化

- (1) 荷捌き機能や衛生管理体制の強化
 - ・衛生管理意識のさらなる向上のため、細菌等の拭取り検査を実施
 - ・衛生管理講習会を、東部及び西部で各1回実施
- (2) 市場統合による拠点市場への水揚げの集約化
 - ・高知県漁協佐賀統括支所への市場統合に向けた協議推進

計画を進めるに当たってのポイント

1. 県内産地の対応力の強化
2. 各市場施設が抱える課題抽出と漁協の経営体力に見合った施設整備

平成29年度上半期の取り組み状況（D）

1. 外商ビジネスの拡大

- (1) 「応援の店」や「さかな屋高知家」を拠点とした外商活動の一層の強化
 - ホテルやチェーン店等の産地招へい
 - ・Italian Bar PIENO（大阪府）を招へい(6/13～6/14)
 - シェフグループへの取組み支援
 - ・大阪市のフレンチシェフ（ピストロヨムラ、フレンチレストラン Mori、トラットリアピノ）による高知フェア及びメニュー開発の開催（6/18、9/20）
 - ・東京の居酒屋（ROOSTER、魚我志むさし、よさこい）によるメニュー開発(9/6)
 - 築地につぼん漁港市場での試食提案会の開催
 - ・「応援の店」10～15店舗（30人）予定(9/5)
 - 「応援の店」への訪問によるニーズ収集及びサンプル出荷
 - ・訪問によるニーズ収集100件、サンプル出荷63件
 - 高級・高鮮度魚の試験出荷
 - ・高級魚や高鮮度処理魚の試験出荷7件
 - 農畜産物との混載によるサンプル出荷8件
- (2) 県内産地の対応力の強化
 - 県内の定置網等での高鮮度処理（血抜き、神経締め等）の指導・助言
 - ・古満目定置、窪津定置で実践講習会を実施9回
- (3) 消費地市場と連携した外商活動の展開
 - 市場関係者の紹介による関西の量販店での高知フェアの開催
 - ・パルコープ（大阪府枚方市）での高知フェアの開催（4/15）
 - ・オークワ（和歌山市本社の量販店）の3店舗で高知フェアの開催（6/17）
- (4) 販売の拡大を背景とした新たな物流システムの構築
 - ・「応援の店」産直事業者意見交換会の開催（8/30）

2. 産地市場の機能強化

- (1) 荷捌き機能や衛生管理体制の強化
 - ・細菌等の拭取り検査に係る関係者協議（4/12, 4/21, 4/26, 5/18）
 - ・拭取り検査の実施（室戸岬、佐賀、清水、田ノ浦の4市場で月に1度実施）
 - ・衛生管理講習会の実施（6/13, 14）
- (2) 市場統合による拠点市場への水揚げの集約化
 - ・高知県漁協佐賀統括支所への市場統合に向けた協議（5/23, 5/29, 7/12, 7/13）
 - ・高知県漁協佐賀魚市場衛生品質管理推進協議会の開催（8/23）

見えてきた課題と平成29年度の取り組み（C、A）

見えてきた課題・改善策

1. 外商ビジネスの拡大

- (1) 「応援の店」や「さかな屋高知家」を拠点とした外商活動の一層の強化
 - ・取引意欲のある「応援の店」の一層の確保
 - ・「応援の店」と県内事業者のマッチング機会のさらなる充実
 - (2) 県内産地の対応力の強化
 - 県内の定置網等での高鮮度処理（血抜き、神経締め等）の指導・助言
 - ・高鮮度処理の定着化
- 2. 産地市場の機能強化**
- (1) 市場統合による拠点市場への水揚げの集約化
 - ・漁協としての方向性の明確化

下半期の主な取り組み

1. 外商ビジネスの拡大

- (1) 「応援の店」や「さかな屋高知家」を拠点とした外商活動の一層の強化
 - 産地見学会の開催（20店舗×3回）
 - ホテルやチェーン店等の産地招へい(5回)
 - 「応援の店」のシェフグループによる県産水産物を活用した取組（3グループ）
 - 「築地につぼん漁港市場」での県産水産物の試食提案会の開催（1回）
 - 「応援の店」への訪問によるニーズ収集及びサンプル出荷（ニーズ収集100件、サンプル出荷137件）
 - 高級・高鮮度魚の試験出荷（53件）
 - 農畜産物との混載によるサンプル出荷（12件）
- (2) 県内産地の対応力の強化
 - 定置網を中心とした高鮮度処理体制の構築のための指導（16回）
- (3) 消費地市場と連携した外商活動の展開
 - 市場関係者の紹介による関西量販店での高知フェアの開催（16店舗）
- (4) 販売の拡大を背景とした新たな物流システムの構築
 - 関係事業者との最適な物流方法についての検討、協議
 - 複数産地の鮮魚集荷によるエア便等を活用した物流の試行
 - 活魚集荷による高鮮度処理魚の物流の試行

2. 産地市場の機能強化

- (1) 荷捌き機能や衛生管理体制の強化
 - ・衛生管理意識のさらなる向上のため、細菌等の拭取り検査を実施（室戸岬、佐賀、清水、宿毛）
- (2) 市場統合による拠点市場への水揚げの集約化
 - ・高知県漁協佐賀統括支所への市場統合に向け、早期に漁業者及び買受人を巻き込んだ協議を実施

【平成31年度末の目標（H29到達目標）】

1. 「応援の店」の登録店舗数 = H31：1,000店舗<H29：800店舗（H26比+426店舗）>
2. 「応援の店」1店舗あたり、年100万円以上の取引をする県内事業者数 = H31：40事業者<H29：25事業者（H26比+25事業者）>
3. 県外消費地市場地区の量販店での水産物フェア等の開催店舗数 = H31：100店舗（H28～H31累計）<H29：累計67店舗（H27比+47店舗）>
4. 新たな物流に取り組む地区 = H31：3地区<H29：1地区（H27比+1地区）>

【直近の成果】

1. 「応援の店」の登録店舗数：延べ722店舗【対前年同期比50店舗増】
2. 「応援の店」1店舗あたり、年100万円以上を取引する県内事業者：—
3. 県外消費地市場地区の量販店での水産物フェア等の開催店舗数：市場関係者の紹介による関西の量販店での高知フェアの開催：4店舗【対前年同期比22店舗減】
4. 新たな物流に取り組む地区：—